

# SEOS便り

責任者 敏彦  
責任者 彰彰  
編集者 横堀  
編集者 他  
発行 石川

## インフルエンザ予防接種

高熱・だるさ・咳・・・  
これってインフル？ コロナ？

新型コロナウイルスがいまだに終息の兆しが見えない中、インフルエンザが流行する季節になりました。コロナ及びインフルの症状は非常によく似ており、専門家でも見分けることができません。同時流行に備え、従業員の皆様におかれましては、引き続き感染対策をお願いいたします。インフルエンザの予防接種につきましては、個人で病院等へ行っていただき、接種をお願い致します。

なお、会社の健康保険（東京実業健康保険組合）に加入している方に関しては、対象医療機関での接種に限り、東京都総合組合施設振興協会（東振協）から補助金（千円）が受けられます。対象医療機関は東振協ホームページを参照願います。また、補助金を受けるためには、『東振協専用インフルエンザ予防接種利用券』と保険証を窓口で提出する必要があります。※会社の健康保険未加入の方については補助金を受けることができません。※予防接種料金（自費負担）は医療機関や自治体によって異なりますので、ご自身でよくお確かめください。

東京都総合組合施設振興協会ホームページ (<http://www.toshinkyu.or.jp/influenza.html>)

新型コロナウイルス流行に伴い、インフルエンザ予防接種費用について、無料化とする自治体が増えております。  
自治体により、対象年齢、補助条件等が異なりますので、お住いの自治体の補助制度を良くご確認ください。  
なお、自治体の無料の補助制度を利用する場合は、東振協の「インフルエンザ予防接種利用券」は利用しないよう、お願いいたします。

保険証に記載されている番号の入力  
記号→GMC『8358』AGS『8359』  
番号→記号の右隣の3桁～4桁の数字

必要事項を入力し、確認画面へ確認後、印刷して、予約した医療機関へご持参ください！！  
お問い合わせ：総務部03-3834-5340

保険者番号の入力『06138671』

医療機関を一覧から選択し、病院へ予約をしてください。予約の際は、『東振協インフルエンザ予防接種』利用であることをお伝えください。  
※病院によっては予約不要の場合もありますが、事前の確認が必要です。

3種類の実施方法から選択

健康保険証を用意して発行申し込みをクリック

# 労災発生！足元注意！転倒防止！

従業員の皆様においては日頃より業務にご精励いただき誠にありがとうございます。GMC・AGSでは令和2年4月より、計6件の労働災害が発生しております。そして、6件すべての発生原因は**転倒**で、そのうち5件は業務災害となります。

※業務災害とは：労働者が業務を原因として被った負傷、疾病または死亡をいいます。業務と傷病等との間に一定の因果関係があることを「業務上」と呼んでいます。

どんな労災が発生しているかというところ…  
業務中に足元に置いてあった荷物に躓き転倒、施設内巡回中に身体のバランスを崩し転倒。他にも、階段で移動中に足を踏み外し転倒、などがあります。

慣れ親しんだ勤務地であると、一瞬の油断が生まれ、そこから大きな事故に繋がる場合があります。今一度、勤務地の施設内外で業務災害が起こりそうな場所がないか・物が放置されていないか、確認していただきたいと思えます。もし、そういった場所や物がある場合は、事故防止の対策をし、情報共有をお願いします。

万が一、業務中に事故が発生したら、すぐに上長に報告し、労災として医療機関を受診しましょう。

寒くなり始め、体調を崩しやすい季節になりました。普段から体調に気を付けて、事故を未然に防げるようご協力お願いします。

厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。詳しくは厚生労働省ホームページをご参照ください！



あなたの職場は大丈夫？  
転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目	
1 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2 床の水たまりや氷、油、粉塵などは放置せず、その除去に取り回していますか	<input type="checkbox"/>
3 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4 転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5 作業靴は、作業現場に合った耐摩耗性があり、かつちょうど良いサイズのものを着用していますか	<input type="checkbox"/>
6 ヒヤリハット情報紙を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7 段差のある箇所や滑りやすい場所などを標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8 ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果は、いかがでしたか？

# フオロー教育&池袋防災館

今年度新卒で入社された方のフオロー教育を行いました。入社から半年が経過し、業務に関することや悩み事などを聞き取り、それに対するアドバイスと今後の業務への取り組み方などを教育いたしました。

その後は、新人社員と中途入社の方で、池袋にある防災館に赴きました。防災館では、救急コーナー・消火コーナー・煙コーナー・地震コーナーの4つの防災体験を行いました。救急コーナーでは、心肺蘇生法やAEDの操作方法を学び、消火コーナーでは、大型スクリーンに映し出された炎に向かって、消火器等を使用した消火訓練を行いました。また、煙コーナーでは煙の性質を学んだあと煙の中から避難する体験をし、地震コーナーでは、東日本大震災、関東大震災などの実際に起こった地震を再現した揺れを経験し、地震が起きた時にどのような行動をすればよいのかを学びました。

実際に体験してみて、印象に残った点が3点ありました。1点目は煙の性質についてです。煙は天井に昇ってから横に広がるスピードが速く、きれいな空気は下に行くため、120センチ以下になるよう屈んで素早く避難する必要があります。

2点目は、東日本大震災の被害を受けた企業の映像を見て、オフィス家具の転倒・移動防止に関して、本社および各施設で防止策を講じているのかを今一度考える機会となりました。

3点目は、今回横揺れの地震体験をし、屈んでいる状態でも頭を守ることで精一杯になってしまいう程の強い揺れを目の当たりにして、改めて地震の怖さを再確認しました。また、地震が起きた時はガスなど火の元を消してから隠れる事が大事だと思っていました。東日本大震災後からは、まず、自分自身の身の安全を最優先に行う事と避難行動の仕方が変わっております。

救命や災害についての知識を深めることで、実際に災害が起きた時の行動を学ぶことが出来ました。防災体験ツアーは予約することでどなたでも参加できます。日本は災害が多く発生する国のため、非常の際の行動を考え、日頃から備えておきましょう。

